

# 目次

## 03 主な出来事

警防本部多摩指揮隊の創設  
東京国際空港航空機火災  
令和6年能登半島地震 緊急消防援助隊  
様々な災害に立ち向かう消防隊  
救急出場ひっ迫時の対応

## 07 組織

東京消防庁管轄区域／組織図  
消防力／階級等

## 09 消防車両

さまざまな災害に対応する車両  
Topic: 救出救助車  
救助車両／救急車両  
まだまだあります！東京消防庁の特殊車両  
空の消防／海の消防

## 15 火災

火災件数と死者数の推移  
令和5年住宅火災の出火原因  
消火隊などの紹介  
STOP！住宅火災—住宅防火の心得—

## 17 救助

救助件数の推移  
令和6年中の事故種別ごとの出場件数  
Topic: 水難救助隊  
救助隊などの紹介

## 19 救急

救急出場件数の推移／令和5年初診時程度  
Topic: 自動式心マッサージ器を増強  
救急隊などの紹介／応急手当の普及  
Topic: 応急救護普及車  
「#7119」東京消防庁救急相談センターと  
東京版救急受診ガイド

## 21 災害救急情報センター

119番通報件数の推移  
令和5年中の119番通報内訳  
119番通報の多言語対応  
119番通報で伝えてほしいこと／口頭指導体制を強化  
Topic: 119番通報がつながりにくい場合

## 23 テロ・警戒・火山対策

テロ災害対応訓練／Topic: 特殊災害対策車（除染車）  
統合機動部隊／警戒／火山対策

## 25 消防体制の確保

消防職員・消防団員の育成  
安全対策の推進  
確実な機器を災害現場へ／職員採用募集

## 27 火災予防

繁華街地域における防火安全対策  
避難経路の安全確保のための取組  
建物の安全・安心情報の発信  
飲食店火災への対策  
ガソリン販売時の注意喚起／電気火災の予防  
火災予防に関する動画の展開  
Topic: AR訓練機器

## 29 防災

住宅用防災機器等の設置・維持管理促進  
家具類の転倒・落下・移動防止対策  
高齢者・障害者などの安全対策  
子どもの日常生活事故防止  
地域が一体となった連携体制の確立  
プッシュ型防災訓練／マンション防災訓練  
在留外国人を対象とした防火防災訓練  
防火防災訓練ポータルサイト  
VR映像を使った防災教育  
Topic: 防災訓練用車両の紹介

## 31 消防団

消防団員の処遇／消防団の技能講習  
消防団の組織／消防団の施設／可搬ポンプ積載車  
Topic: 消防団の組織力を充実・強化するための制度

## 33 都民のみなさまとともに

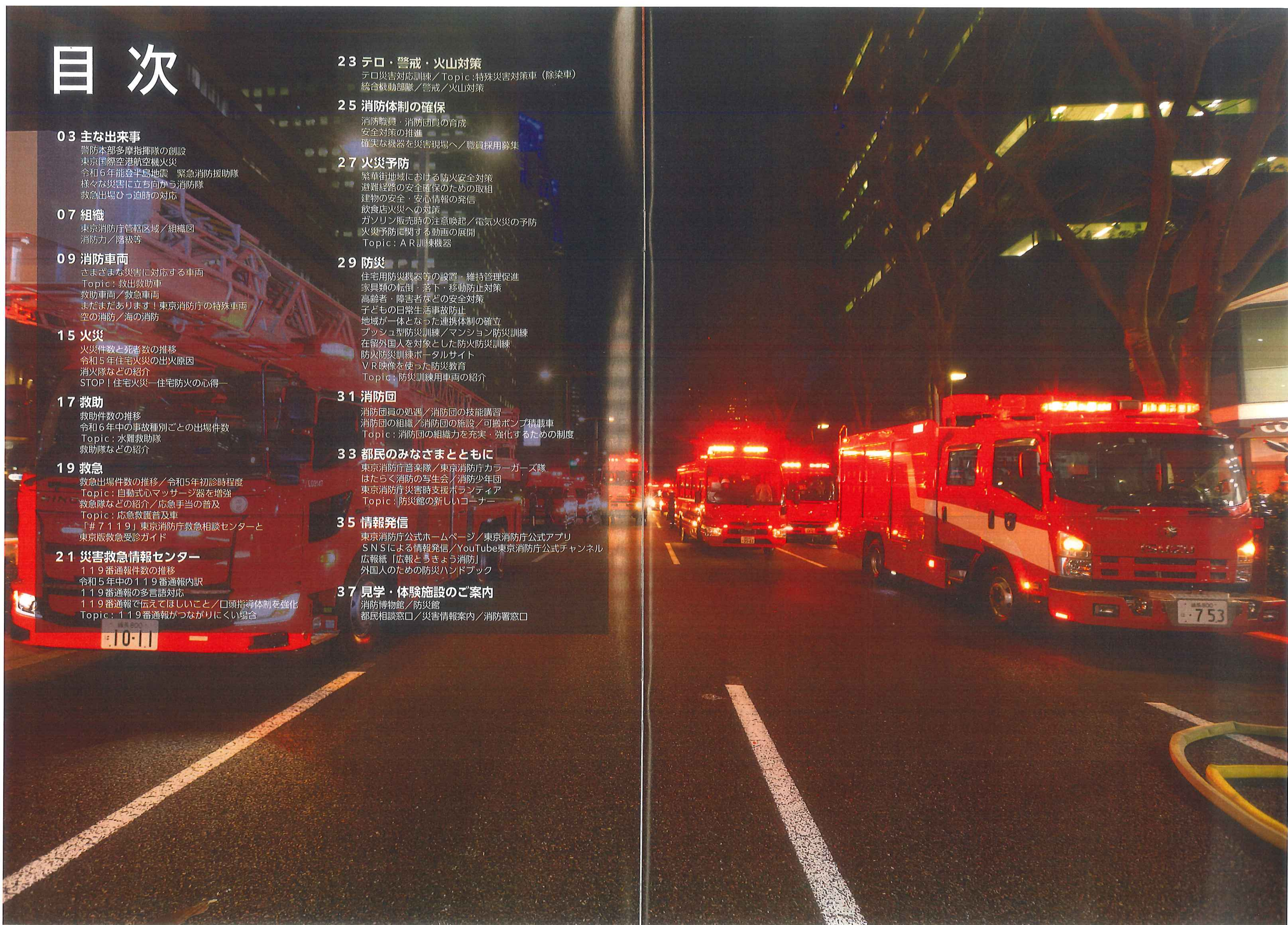
東京消防庁音楽隊／東京消防庁カラーガーズ隊  
はたらく消防の写生会／消防少年団  
東京消防庁災害時支援ボランティア  
Topic: 防災館の新しいコーナー

## 35 情報発信

東京消防庁公式ホームページ／東京消防庁公式アプリ  
SNSによる情報発信／YouTube東京消防庁公式チャンネル  
広報紙「広報とうきょう消防」  
外国人のための防災ハンドブック

## 37 見学・体験施設のご案内

消防博物館／防災館  
都民相談窓口／災害情報案内／消防署窓口



## 警防本部多摩指揮隊の創設

多摩東部直下地震や火山噴火による降灰被害に加え、山岳遭難や林野火災など地域特有の災害に対して万全の体制を構築するため、東京消防庁は令和6年10月29日より警防本部直轄の警防本部多摩指揮隊の運用を開始し、多摩地域における司令塔機能のさらなる強化を図ります。

### 多摩地域特有の災害への対応



山岳救助



林野火災



土砂災害

震災時など大規模な災害が発生した際、これまでは23区にある警防本部指揮隊が東京都内全域の災害に対して指揮支援を行う必要がありました。新たに多摩地域に指揮隊を配置することにより、23区と多摩地域において、それぞれが司令塔として機能することで、大規模災害に対してこれまで以上に迅速かつ強力に対応することを可能とします。



### 令和6年10月29日 警防本部多摩指揮隊運用開始式



▲警防本部多摩指揮隊の指揮による一斉放水



▲活動隊から報告を受ける警防本部多摩指揮隊

## 東京国際空港 航空機火災

令和6年1月2日に発生した東京国際空港における航空機火災は、過去に経験したことのない大規模な火災でした。都内から115隊の消防部隊が集結し、延焼拡大危険がある航空機燃料に最大限配慮しながら、屈折放水塔車や無人走行放水装備等による放水活動など、長時間にわたる消防活動を実施しました。



▲機体に放水する消防隊員



▲無人走行放水装備による消火活動



▲屈折放水塔車による高所からの放水

令和6年10月には、東京国際空港緊急計画連絡協議会による航空機事故消火救難総合訓練が行われました。空港管理者や東京消防庁をはじめとする60以上の関係機関が参加し、同年1月に発生した航空機火災への対応を踏まえ、万全の消防活動体制を再確認しました。



▲航空機内の危険物を測定する機動部隊員



▲遠距離放水する無人走行放水装備

## 令和6年能登半島地震 緊急消防援助隊

令和6年1月1日、石川県能登地方で最大震度7を記録する地震が発生しました。1月2日、消防ヘリが被災地に出場し、救助活動・救急活動のほか、人員輸送や物資輸送を行いました。



▲人員・物資を輸送する消防ヘリ



▲輪島市の倒壊した家屋における救助活動



▲亀裂が入った悪路を走行する全地形活動車

令和6年1月8日、消防庁長官から東京都大隊に対して出動指示があり、同日先遣隊が航空自衛隊入間基地から輸送機で石川県に出場しました。東京都大隊は延べ1,225名を派遣し、人命救助活動や情報収集を行いました。



▲自衛隊C-2輸送機による救助車(IV型)の輸送



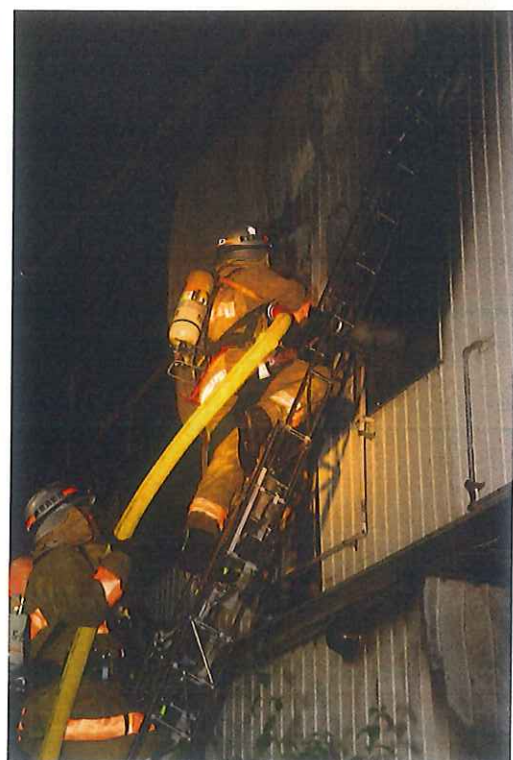
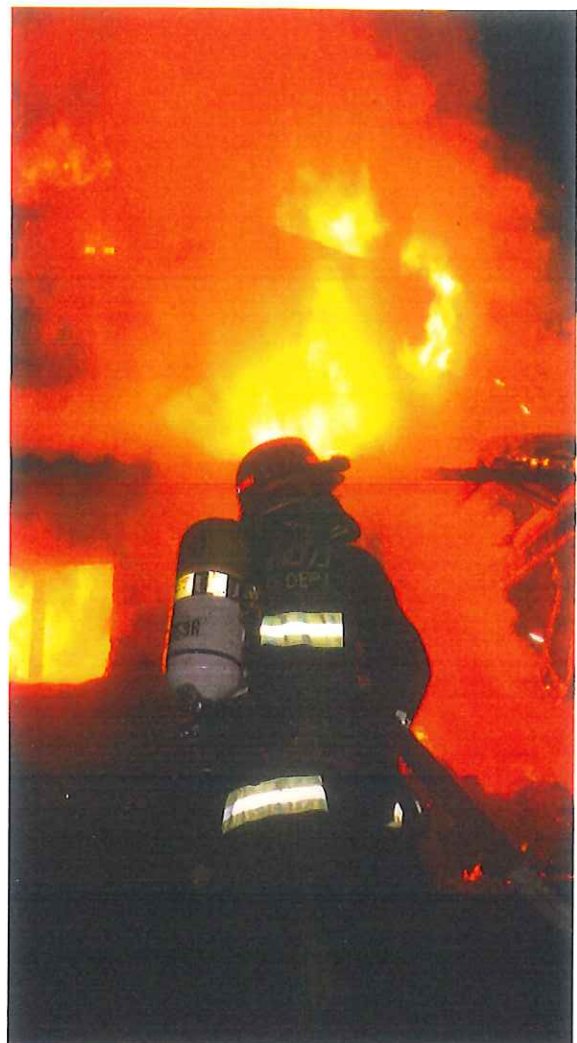
▲強力吸引車による土砂の除去及び救助活動



▲重機(ドラグショベル等)による救助活動

# さまざまな災害に立ち向かう消防隊

消防行政を取り巻く環境は刻一刻と変化しており、様々な災害をはじめ、増大を続ける救急需要や大規模・複雑化する建築物など、各課題に的確に対応する必要があります。  
都民の安全・安心を守るために、最新鋭の消防車両や装備を備え、日々訓練を重ねることにより、あらゆる災害に対し万全の体制を構築し、絶えず消防行政の質を向上させています。



## 救急出場ひっ迫時の対応

令和6年の夏は、連日の猛暑により熱中症の救急搬送が相次ぐなど、救急出場が多い状態が続きました。当庁では、このような救急出場のひっ迫を受けて臨時的救急隊を増隊するなど、全庁を挙げて対応しました。



▲救急出場ひっ迫時の災害救急情報センター



令和6年救急出場件数  
過去最多を記録 **935,162件**  
(速報値)

また、年々増加する救急出場件数に対応するため、「救急車の適時・適切な利用」や「適切な119番通報」を促進する動画を制作し、YouTube 東京消防庁公式チャンネルやデジタルサイネージなどで広く放映しました。



▲救急車の適時・適切な利用促進動画



▲適切な119番通報促進動画



▲X(旧 Twitter)の投稿

限りある資源である救急隊が、長時間不能となる救急隊への妨害行為が発生している状況について、SNSなどを活用し広く都民のみなさまへ周知し、理解や共感を得ることにより、救急車の適時・適切な利用を促進しました。

増大する救急需要に対応するため、24時間運用する救急隊を1隊、日中の時間帯に運用するデイトタイム救急隊を2隊増隊しました。

【令和6年10月運用開始】救急隊：臨港消防署 デイトタイム救急隊：救急機動部隊、武蔵野消防署



▲救急機動部隊のデイトタイム救急隊



▲救急隊の活動訓練

# 組織

## 東京消防庁管轄区域

東京消防庁は、昭和23年3月7日、自治体消防として発足以来、都民の生命、身体及び財産を災害から守るため、島しょ地域と稲城市を除く東京都のほぼ全域の消防防災業務を担っています。

高層マンションや商業施設が多い都市部、緑深い山々が広がる山間部など約1,770平方キロメートル、人口約1,400万人を、約18,800人の職員が、みなさまの安全・安心を守るため消防行政を強力に推進しています。

## 組織図

### 東京消防庁 (消防本部)

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 企画調整部 | 企画課 財務課 広報課               |
| 安全推進部 | 安全推進課 安全技術課               |
| 総務部   | 総務課 経理契約課 施設課 情報通信課       |
| 人事部   | 人事課 服務監察課 職員課 厚生課         |
| 警防部   | 警防課 救助課 特殊災害課 総合指令室 多摩指令室 |
| 防災部   | 防災安全課 震災対策課 水利課 消防団課      |
| 救急部   | 救急管理課 救急医務課 救急指導課         |
| 予防部   | 予防課 危険物課 査察課 調査課 防火管理課    |
| 装備部   | 装備課 装備工場 航空隊              |
| 消防学校  | 校務課 教養課                   |

消防方面本部(10)

指導係

警防装備係

訓練係

防災係

消防救助機動部隊(第二・第三・第六・第八・第九消防方面本部に配属)

消防署(81)

総務課

管理係 経理係

警防課

防災安全係 消防係 救急係 機械装備係

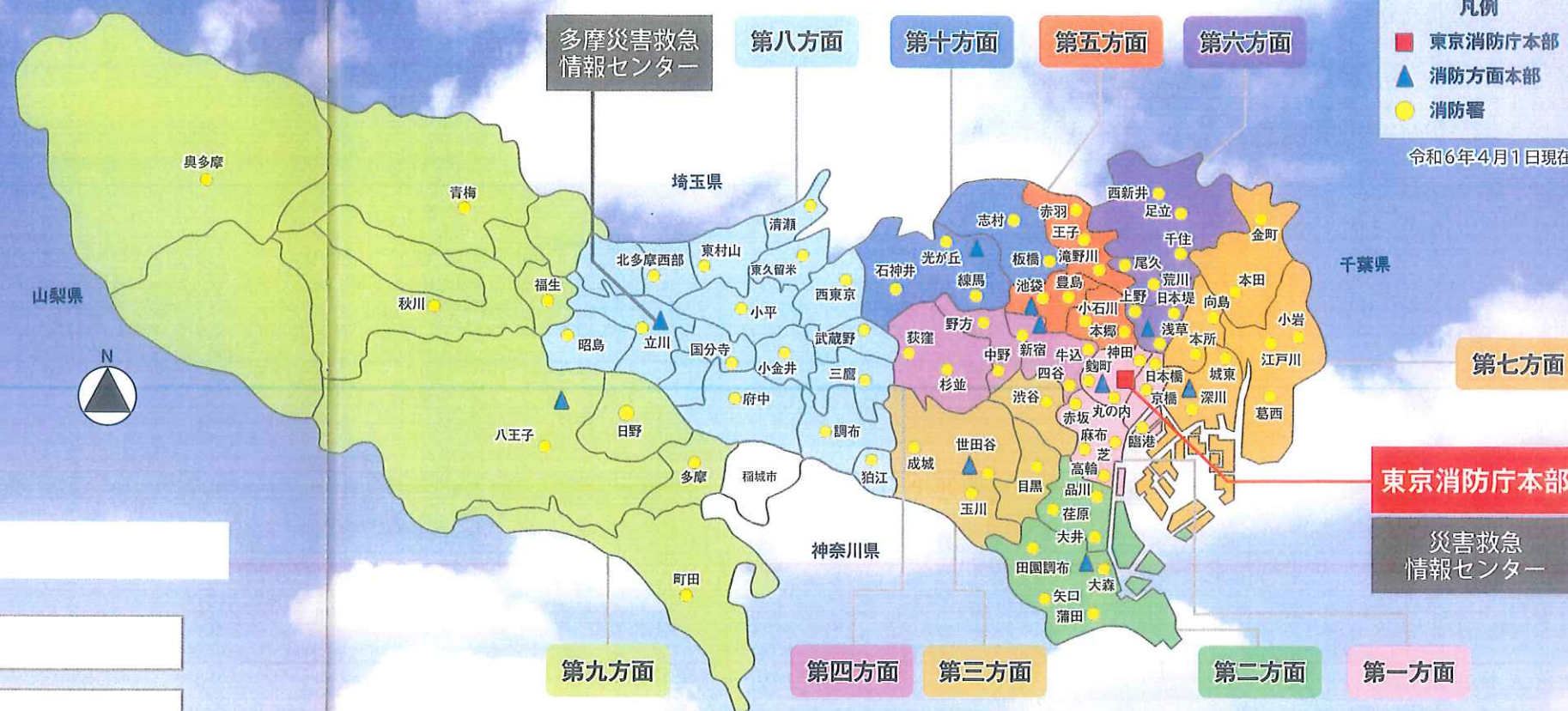
予防課

防火管理係 査察係 予防係 危険物係

消防分署 (3)

消防出張所 (208)

令和7年4月1日現在



## 消防力

管内の各消防署に最新鋭の消防車両などを計画的に配置するとともに、災害にいつでも対応できるよう職員が24時間体制で勤務しています。

|           |         |
|-----------|---------|
| 消防職員合計    | 18,773人 |
| 消防吏員      | 18,351人 |
| 消防吏員以外の職員 | 422人    |

令和6年4月1日現在

|       |        |
|-------|--------|
| 消防署   | 81署    |
| 消防分署  | 3分署    |
| 消防出張所 | 208所   |
| 消防車両等 | 2,013台 |

## 階級等

統制ある組織運営と部隊活動のため、職員(消防吏員)には10の階級等があります。

|      |  |       |  |       |  |       |  |     |
|------|--|-------|--|-------|--|-------|--|-----|
| 階級章等 |  | 消防総監  |  | 消防司監  |  | 消防正監  |  | 消防監 |
|      |  | 消防司令長 |  | 消防司令  |  | 消防司令補 |  |     |
|      |  | 消防士長  |  | 消防副士長 |  | 消防士   |  |     |

# さまざまな災害に対応する 消防車両

東京消防庁では都内の消防施設に様々な車両を配置し、複雑化している災害に対して迅速に出場できる体制を整えています。

## ポンプ車



火災発生時に消火活動を行うための車両です。消火栓や防火水槽などから水をくみ上げ、毎分2,000リットル以上放水可能な消防ポンプを搭載しています。

## 化学車



通常の放水では消火が難しいガソリンなどの危険物火災に対応するための車両です。消火に必要な泡消火薬剤や発泡器具を積載しています。

## 空港用大型化学車



石油コンビナート等や危険物製造工場、航空機等の大規模な危険物火災に対応するための車両です。車両上部の大型泡放射銃から最大毎分4,500リットル以上の泡放射が可能で、種類の異なる泡消火薬剤を積載し、災害の状況に応じて選択する運用が可能です。

## 指揮隊車



災害現場で指揮本部を設置し、情報収集や活動命令を下すために運用する車両です。ワンボックス型の車両に、無線機等の通信機や指揮台、拡声器などを積載しています。

## はしご車



主に高所での救助、消火活動を行う車両です。30メートルと40メートルの高さまで届くものや、車いすのままバスケットに搭乗できるものもあります。

## 屈折放水塔車



屈折2塔式放水塔を装備し、最大22メートルの高さから放水が可能な車両です。泡放射も可能なことから、高所火災、危険物火災などで絶大な威力を発揮します。

## トイレカー



長時間に及ぶ災害活動を支援するため、トイレ機能に特化した車両です。男性と女性にスペースを分け、トイレ設備のほか手洗い器、ハンドドライヤー等を設けています。

## 補給車



災害活動が長時間に及ぶ場合、災害現場において水分補給、給食ができる機能を備えた車両です。給湯設備、流し台、テント装置等を搭載しています。

## 消防活動二輪車



高速道路や山岳地域の災害現場にいち早く到着するため、オフロードタイプの自動二輪車をベースにした車両です。

## 査察広報車(水素自動車)



指揮命令の伝達等に使用し、水素等で発生する電気で行くため、環境性能に優れた車両です。

## Topic

### 救出救助車(小型ホース延長車・小型送水車)

木造密集地域及び倒壊建物で瓦れきが散乱した過酷な環境下での火災に対し、2台1組で効果的な消防活動を行う車両です。ホースを積載・延長可能な小型ホース延長車と消防ポンプを積載した小型送水車で構成され、1,000メートル先に毎分500リットル以上の遠距離送水が可能です。



# 救助車両

## 救助車



特別救助隊が災害現場で救助活動に対応するための車両です。ウインチ装置、昇降式照明装置、発電装置等を搭載し、様々な救助資器材を積載しています。

## 水難救助車



水難救助隊が港湾、河川等の救助活動に対応するための車両です。スクーパーセット収納装置、船外機収納装置、照明装置、シャワー装置等を搭載しています。

## 山岳救助車



山岳救助隊が、山岳災害での救助活動を行う車両です。走破性に優れた四輪駆動車をベースに、バスケット担架等の資器材を積載可能なルーフキャリア、可動棚式資器材収納庫を搭載しています。

## 救出救助車(全地形活動車)



山岳救助現場における資器材搬送や、林野火災現場での通常の消防車両による進入が困難な地域において、高い機動力を生かして現場活動を支援することを目的とした車両です。浸水地や不整地走行、更にタイヤからクローラーに換えることで泥ぬい地や急斜面等も走行可能です。

## まだまだあります! 東京消防庁の特殊車両



ドラグショベル(小)



トラクタショベル



重機搬送車



10トン水槽車

# 救急車両

## 救急車



救急救命士による高度な処置が行える資器材を積載しています。傷病者に走行中の振動を与えないよう、揺れを吸収するための防振架台を搭載しています。

## 陰圧型特殊救急車



感染症の疑いのある傷病者に対応可能な車両です。運転室と傷病者室との間に隔壁を設け、陰圧装置によりウイルスや細菌が外部に流出することを防止できる構造です。

## 特殊救急車(スーパーアンビュランス)



救急車として患者搬送を行えるほか、救護所としての機能を有した車両です。ボディを左右に拡張することで、最大約40平方メートルのフラットな床面になり、最大8床のベッド数を備えることができます。

## 小型救急車



狭あい路の多い山岳地帯の救急搬送に対応するための車両です。四輪駆動の小型乗用車を採用しています。傷病者室にストレッチャー等を積載し、車両上部にスクープストレッチャーや資器材収納ボックスの固定位置を設けています。



遠距離大量送水装備



工作車(強力吸引車)



高機動救助車



エアポート

# 空の消防

消防ヘリコプターは、中型機4機（ちどり・かもめ・つばめ・おおたか）、大型機4機（ひばり・ゆりかもめ・こうのとり・はくちょう）の合計8機を運航し、空からの消火、救助、情報収集、傷病者の搬送等を行っています。



▲消火活動をする消防ヘリ



▲消防ヘリの操縦席



▲要救助者を吊り上げて救助する消防ヘリ

## 大型ヘリコプター



ひばり



ゆりかもめ



こうのとり



はくちょう

## 中型ヘリコプター



ちどり



かもめ



つばめ



おおたか

※「おおたか」は総務省消防庁の機体です。

# 海の消防

東京消防庁には9艇の消防艇があり、日本橋消防署、臨港消防署、高輪消防署に配置されています。船舶火災の消火に加え、港や海上での火災警戒、他船への火災予防の呼び掛け、河川や海での水難救助活動を通じて、東京港の安全を守っています。



▲大型消防救助艇「おおえど」



▲水難救助訓練



▲要救助者を救出する訓練

## 大型化学消防艇



みやこどり

## 化学消防艇



ありあけ



かちどき

## 指揮艇



はやて

## 水難救助艇



はるみ



きよす



はまかぜ

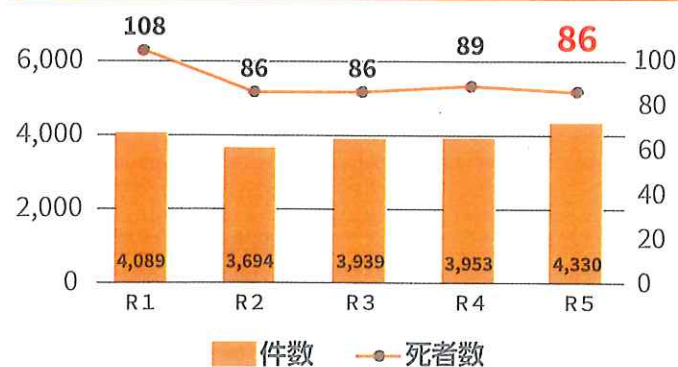


しぶき

# 火災

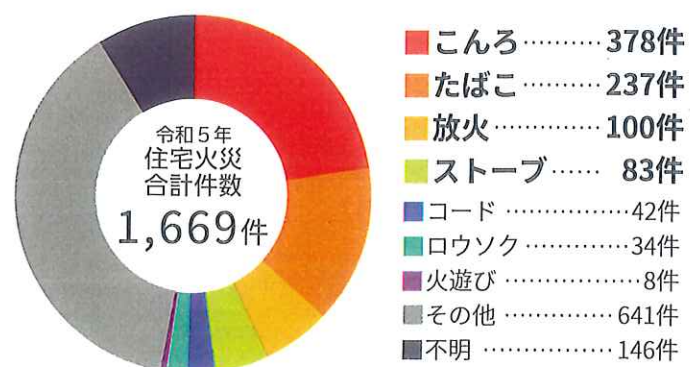
あらゆる火災に迅速的確に対応するため、高度な知識、技術と強靱な体力を持った精強な消防部隊を育成、配備しています。

## 火災件数と死者数の推移



※令和6年の速報値 火災件数4,518件 死者数94人

## 令和5年住宅火災の出火原因



### ポンプ隊

火災現場での消火活動を主軸とし、PA連携（救急車が到着するまでの間にポンプ隊が応急手当などを行う活動）にも対応する部隊です。



### 特別消火中隊

複雑多様化する火災に対応するための高度な活動能力を有する消火部隊です。



### はしご隊

高層階に取り残された人の救出や、高所からの放水を行う部隊です。



### 指揮隊

大隊長を中心とし、火災現場に出場している部隊を指揮・統括する部隊です。



### Topic

### 無人走行放水装備

遠隔操作により大量の水や泡を放射し消火する車両です。大量の風を送り、有毒ガスを排出する機能もあり、石油コンビナート・航空機・タンクローリー等の火災など、消防隊員が接近できない災害に対応することができます。



▲訓練塔へ泡放射をする様子



▲火災現場での消火活動

## STOP！住宅火災 —住宅防火の心得—

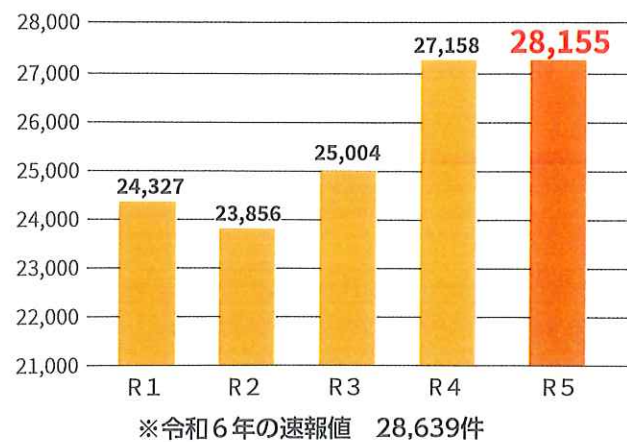
火災にいち早く気づくことができる「住宅用火災警報器」、火災の被害軽減に有効な「消火器」、火が接触しても着火しにくく燃え広がるのを防ぐ「防災製品」をご家庭に備えましょう。



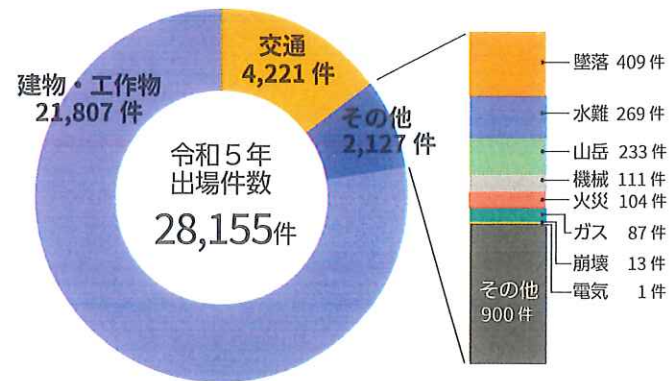
# 救助

火災、交通事故、化学災害、水難事故、山岳事故等から命を救うため、高度な知識・技術・装備を備えた専門部隊を配置し、多種多様な災害に適応した救助活動を展開しています。

## 救助件数の推移



## 令和5年中の事故種別ごとの出場件数



## Topic

## 水難救助隊

水難事故で人命救助にあたる部隊です。消防艇や消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。昭和49年10月23日に運用を開始し、令和6年で50年を迎えました。

【配置状況】  
日本橋・臨港・大森・足立・小岩・調布



▲過去の水難救助訓練



▲現在の水難救助訓練

## 特別救助隊



救助に関する高度な知識と専門技術、特殊な資器材を駆使し、火災や交通事故、自然災害などで人命救助にあたる部隊です。

【配置状況】  
麹町ほか22署

## 山岳救助隊



山岳事故で人命救助にあたる部隊です。車両が進入できない危険な場所での活動では、消防ヘリコプターと連携して救助活動を行います。

【配置状況】  
八王子・青梅・秋川・奥多摩

## 消防救助機動部隊



震災等による建物の倒壊や土砂崩れなどの大規模災害に対応し、消火・救助・救急活動が同時に行える部隊です。

【配置状況】  
第二・第三・第六・第八及び第九消防方面本部

## 化学機動中隊



危険物やNBCなどが原因の特殊災害現場での人命救助、漏えい拡大の防止、除染などの活動をする部隊です。

※NBC…放射性物質、生物剤、化学物質

【配置状況】  
赤坂・大井・本郷・志村・千住・城東・三鷹・日野・福生

## 航空消防救助機動部隊



陸上から対応困難な高層ビルや孤立地域、山間部、水上での災害など、上空から救助活動を行う部隊です。

【配置状況】  
江東航空センター・多摩航空センター

## 即応対処部隊



広域自然災害発生時に、災害状況の迅速な確認・把握や、他隊と連携した救出活動を任務とする部隊です。

【配置状況】  
救助課

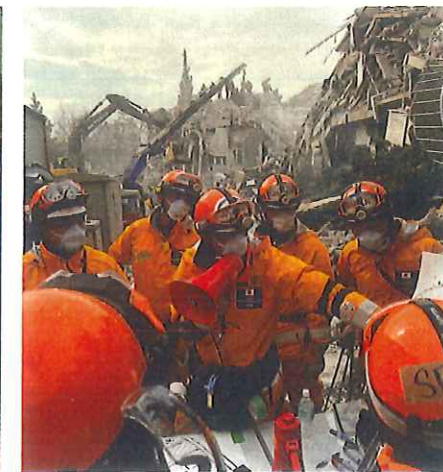
※配置状況…令和6年4月1日現在

## 国際緊急援助隊(救助チーム)

海外で大規模な災害が発生した場合に、国際緊急援助隊に登録している隊員の中から選抜・編成し、救助チームとして被災国へ派遣され、救助活動を行う部隊です。近年では、令和5年2月6日にトルコ共和国で発生した地震に伴い、当庁から6名の職員が派遣され、捜索救助活動に従事しました。



▲トルコ共和国で発生した地震災害への出発式



▲トルコ共和国での捜索救助活動 (JICA 提供)



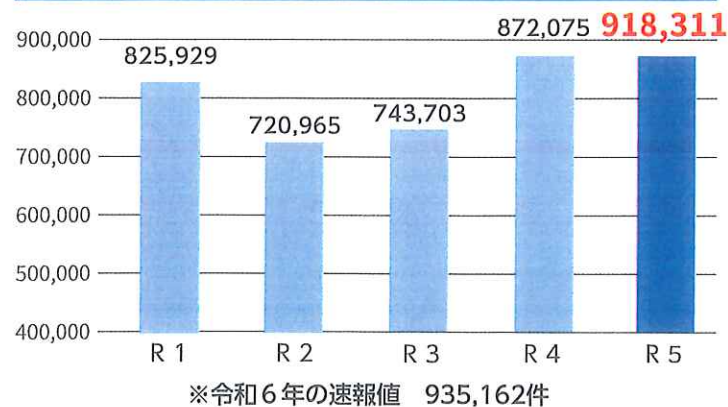
▲トルコ共和国での夜間の捜索救助活動 (JICA 提供)

# 救急

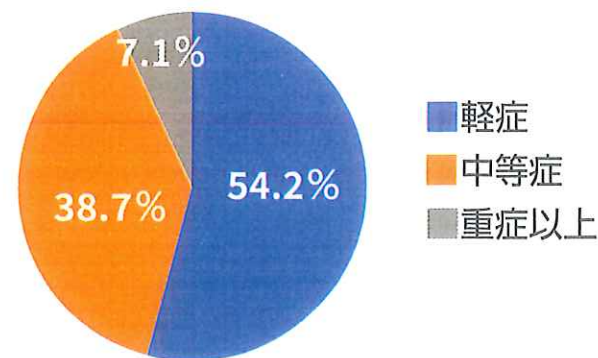


超高齢社会の進展等に伴い、救急需要の増加が見込まれます。救急隊が現場に到着するまでの時間を短縮するため、計画的な増隊や機動的な運用を行っています。  
また、都民のみなさまに対して、救急車の適時・適切な利用も呼び掛けています。

救急出場件数の推移



令和5年初診時程度



## Topic

### 自動式心マッサージ器を増強

救急現場から病院に到着するまで、継続した心臓マッサージを可能とする資器材です。令和5年度から全救急隊に順次配置しています。



▲自動式心マッサージ器



▲自動式心マッサージ器を活用した訓練

## 救急隊



高度な救急サービスを提供するため、全ての救急隊に救急救命士を配置し、適切な応急処置と迅速な病院への搬送を行うための体制を確保しています。

## 救急機動部隊



時間帯等によって変化する救急需要に応じて待機場所を変え、現場到着時間の短縮を図っています。感染症、NBC災害、多数傷病者等、様々な救急事案にも備えています。

## デイトタイム救急隊



日中の救急需要対策として整備している救急隊です。交替制（24時間）の救急隊での勤務が困難な救急資格を有する職員の、多様な働き方の選択肢にもなっています。

## 応急手当の普及

けが人や急病人が発生した場合、バイスタンダー（その場に居合わせた人）がすぐに応急手当を行い、救急車が到着するまで続けることで、命が助かる可能性が非常に高くなります。いざという時に手を差し伸べられるよう応急手当を学びましょう。

### 応急手当を学ぶ方法

- 東京消防庁公式アプリ
- 東京消防庁HP電子学習室
- 救命講習
- 地域の防災訓練等
- YouTube 東京消防庁公式チャンネル



電子学習室



救命講習

### Topic

### 応急救護普及車

イベントなどで応急救護訓練をすることができる車両です。心肺蘇生の訓練ができる人形や、訓練用 AED などを積載しています。



▲展示台やモニターを内蔵



▲東京国際消防防災展2023での応急救護訓練

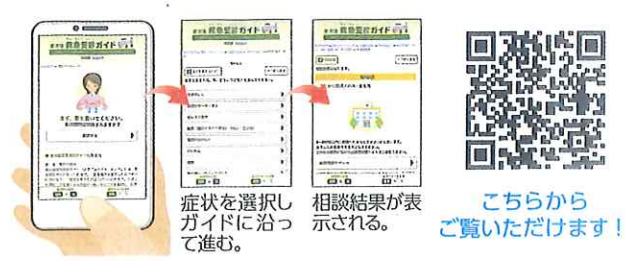
## 「#7119」東京消防庁救急相談センターと東京版救急受診ガイド

急な病気やけがをして、病院に行くか、救急車を呼ぶか迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者などの職員）が24時間年中無休で救急相談や受診可能な救急医療機関の案内を行っています。

### 電話で相談（東京消防庁救急相談センター）



### ネットでガイド（東京版救急受診ガイド）



# 災害救急 情報センター

東京都内※からの119番通報は、特別区では千代田区の特別区災害救急情報センターに、多摩地区では立川市の多摩災害救急情報センターに入電します。119番通報以外にも、警察機関や交通機関からの通報や緊急ネット通報、119番ファクシミリ通報、電話リレーサービスを介した119番通報、救急直接通報などの様々な通報に対応しています。 ※稲城市、島しょ地区を除く

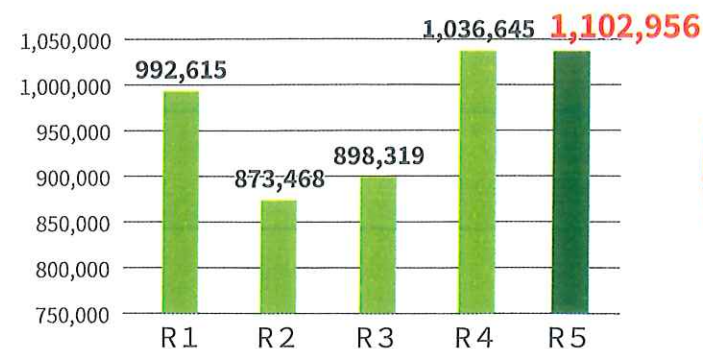


通 報

出場指令

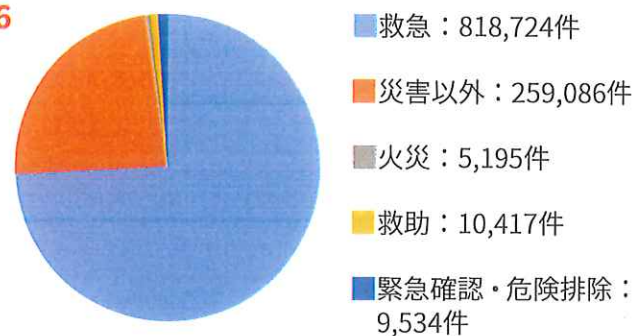
出 場

## 119番通報件数の推移



※令和6年の速報値 1,095,531件

## 令和5年中の119番通報内訳



※令和5年中は1日平均約3,020件、およそ30秒に1件の割合で受付したことになります。

## 119番通報の多言語対応

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語については、通訳センターを介した同時通訳を行っています。

## 119番通報で伝えてほしいこと

119番通報は落ち着いて、安全な場所からしてください。



火災の場合に伝えること

消防車が向かう正確な場所

例：□□区△△町○丁目○番○号

何が燃えているか

例：台所で鍋が燃えています。



救急の場合に伝えること

救急車が向かう正確な場所

例：□□区△△町○丁目○番○号

誰がどんな症状・容体か

例：父が倒れていて意識がありません。

※救急隊から折り返しの電話をかけることがあるため、場合により通報者の電話番号を伺います。

## 屋外で住所がわからない時は…

近くの目印となる建物や住所表示などで確認してください。

◆ 近くの大きな建物や店舗などの名前

例：「□□区〇〇ビルの前です。」「△△郵便局の近くです。」

◆ 道路名や交差点名

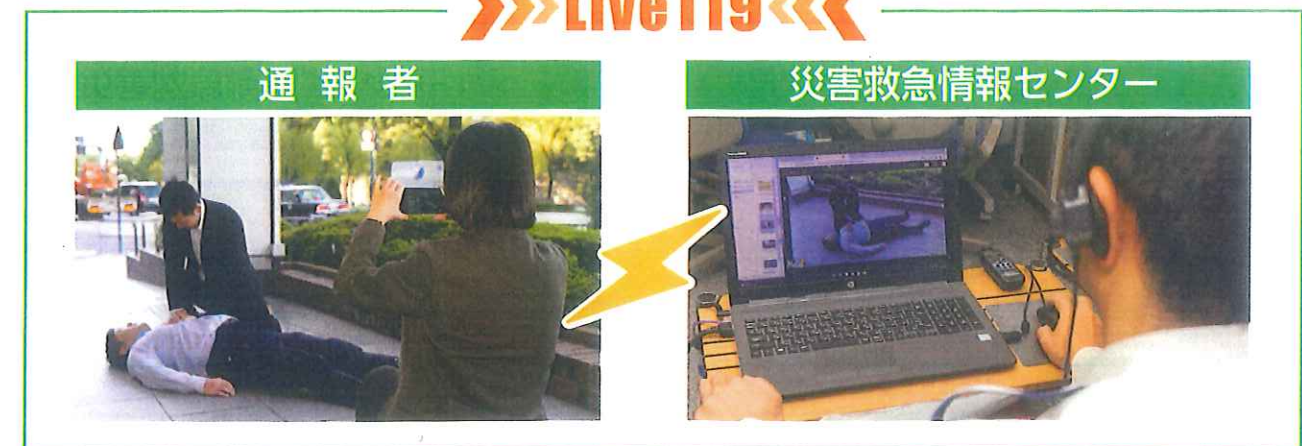
例：「□□通りと△△街道の交差点です。」「〇〇一丁目という名前の交差点です。」

◆ 電柱の住所表示や自動販売機の住所表示ステッカー

※コンビニエンスストアなど営業している店舗で住所を聞く方法もあります。

## 口頭指導体制を強化

119番通報後に応急手当が必要な場合、電話により口頭で応急手当のアドバイスを行っています。さらに、スマートフォンの動画送信機能により傷病者の正確な容態把握や効果的な応急処置の伝達が可能となる「Live119」を近年導入し、映像を活用した口頭指導を実施しています。



## Topic

## 119番通報がつながりにくい場合

- ◇ 通報はつながるまで自分からは電話を切らないでください。
- ◇ お近くの消防署所においても通報を受け付けています。
- ◇ 緊急性を要しない消防に関する問合せは、119番通報ではなく管轄の消防署に連絡してください。  
※不要不急の通報については、最後まで話を聞かずに切断する場合があります。

救急車を呼ぶか迷ったときは「#7119」東京消防庁救急相談センター及び東京版救急受診ガイドをご利用ください。

緊急時以外の相談窓口は38ページをご覧ください。

# テロ・警戒・火山対策



## テロ災害対応訓練

大規模テロなどの武力攻撃災害等に対応するため、消火、救助、救急等への対処のほか、各行政機関と連携した訓練を実施しています。



▲NBC災害総合訓練



▲傷病者の清拭除染



▲傷病者の水的除染（シャワー）

## Topic 特殊災害対策車（除染車）

NBC災害に対応するための車両です。脱衣兼シャワー室、着衣室、折り畳み可能な昇降式担架用シャワー室、給湯装置等を備え、車内で迅速な除染活動を行えます。



## 統合機動部隊

テロ等の大規模災害発生時に多数の傷者を迅速に救出するため、東京消防庁の消防車両などを集結し、万全な活動体制と即応体制を確保するために整備された部隊です。



▲収集した情報を基に指揮を執る様子



▲ドローンの映像を車外モニターで確認する様子



▲通信機器や作戦スペースを設けたコマンドカー



▲車内の作戦スペース

## 警戒

年末年始や祭礼、各種イベントなどの開催に伴う消防特別警戒を実施し、災害発生時の即応態勢の強化を図っています。



▲春の花見シーズンの警戒活動



▲花火大会での警戒活動

## 火山対策

富士山等の大規模噴火に備え、東京消防庁火山災害対策基本方針策定のほか、諸外国の取組の調査、効果的な資器材や装備の整備など、火山対策を推進しています。



▲消防車両の四輪駆動化



▲呼吸保護用マスクの増強

# 消防体制の確保

## 消防職員・消防団員の育成

新しく採用された消防職員の初任教育、特別救助隊や救急救命士の養成をはじめとした専門的な技術を習得する専科教育、管理監督者として必要な能力を身につける幹部教育、現任の消防職員に職務の執行要領などについて教育訓練を行う本部教養などを行っています。  
また、地域の防火防災行動力の要となる消防団員の教育訓練等も行っています。



▲初任教育中の消防学生



▲救急救命士養成課程研修



▲山岳救助本部教養



▲消防団員の教育訓練

## 安全対策の推進

消防や救急活動での重大事故を防ぐため、事故原因の分析や再発防止対策の充実強化に取り組み、消防業務における事故を減らす安全対策を推進しています。  
また、科学的見地に立った各種調査研究や火災原因の鑑定等を行い、都民生活の安全確保や消防活動時の安全性向上にも取り組んでいます。



▲消防隊員の熱中症に関する研究



▲火災原因の鑑定

## 確実な機器を災害現場へ

消防部隊が使用する車両、器具等を常に最良の状態に保つため、整備工場で点検整備を行っています。  
また、災害現場等において消防車両等にトラブルが発生した場合は、現場へ急行し、緊急整備を行えるよう24時間体制で消防隊をサポートしています。



▲整備工場第2工場全景



▲整備工場の整備場の作業風景

## 職員採用募集

消防施設・業務の見学や体験ができる見学会や業務体験等を定期的で開催したり、オンラインで採用係員が不安や疑問に答える個別相談会や女性職員や理系職員による座談会など、様々なコミュニケーションツールを活用し、就職・転職活動をしている人が、一人でも多く東京消防庁に興味を持ってもらえるよう、消防職員の採用活動を行っています。  
また、採用専用サイトの「東京消防庁採用情報サイト」では、業務内容や採用試験、業務説明会などについての情報を発信しています。



▲東京消防庁採用情報サイトトップページ



▲ロープワークの体験



▲整備工場の見学

# 火災予防



火災の発生を未然に防ぐため、建物や危険物施設などの検査や防火管理の指導、火災原因調査・分析などを行い、都民のみなさまの安全・安心の確保に努めています。

## 繁華街地域における防火安全対策

都内有数の繁華街である新宿歌舞伎町地域における防火安全の充実を図るため、新宿消防署に24時間常駐する「機動査察隊」を配置しています。夜間・休日の立入検査や違反是正指導を強化するとともに、各種届出等の窓口開設時間を拡大し対応しています。



歌舞伎町の夜間査察に向かう機動査察隊▶

## 避難経路の安全確保のための取組



▲建物の避難経路に係る立入検査

## 建物の安全・安心情報の発信

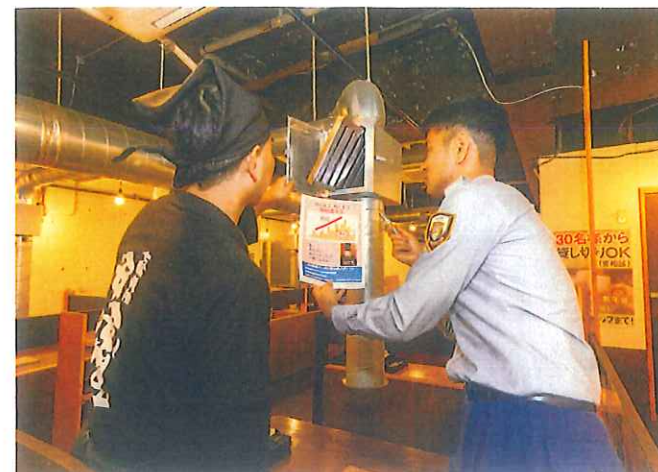
- 優良防火対象物認定表示制度(優マーク制度)  
防火安全性の高い優良な建物を認定する制度です。
- 違反対象物の公表制度  
消防法令違反のある建物を公表する制度です。



▲優マーク

※東京消防庁公式アプリのマップ機能で確認できます。詳細は35ページをご覧ください。

## 飲食店火災への対策



▲飲食店従業員にダクト汚れの危険性を指導

## ガソリン販売時の注意喚起



▲ガソリンスタンドの従業員に、ガソリンを携行缶に入れて販売する際の本人確認等の必要性を指導

## 電気火災の予防

近年、電気設備機器(特にリチウムイオン電池搭載製品)を原因とする火災が増えており、全火災件数のおよそ3割を占めています。東京消防庁では「小さなこげ跡」も火災として扱い、原因を調べて火災予防につなげています。



▲コンセント



▲モバイルバッテリー



▲電気火災の原因調査

## 火災予防に関する動画の展開

### ネットで自衛消防訓練



### 防火管理に係る届出要領



### 火災から命を守る自主防火



## Topic

## AR訓練機器

AR訓練機器を通して現実世界に炎や煙を映し、より臨場感のある訓練を実施することができます。屋内での初期消火訓練や煙からの避難訓練を実施することができます。



▲AR訓練機器を使用した自衛消防訓練



▲AR訓練機器で見えている映像

# 防災



都民のみなさまの安全・安心な暮らしを守るため、防災に関する様々な取組を行っています。

## 住宅用防災機器等の設置・維持管理促進

住宅を火災から守るため、住宅用火災警報器や消火器などの設置・維持管理を促進しています。



## 高齢者・障害者などの安全対策

火災・地震・日常生活事故による被害を防ぐため、事前の対策を呼び掛けています。



## 家具類の転倒・落下・移動防止対策

地震時の家具類の転倒・落下・移動によるけが・火災・避難障害の対策を呼び掛けています。



## 子どもの日常生活事故防止

子どもの日常生活事故における事故事例を紹介し、子どもの成長に応じて起きる様々な事故の防止を図っています。



## 地域が一体となった連携体制の確立

消防署がつなぎ役となり、訓練を通じて町会や事業所などが災害時に協力し合う体制を推進しています。



## マンション防災訓練

マンション居住者に対し、訓練や意識啓発を通じて防災行動力の向上を図っています。



## 防火防災訓練ポータルサイト

防火防災訓練に役立つ動画の視聴や防災に関するクイズに挑戦できます。



## プッシュ型防災訓練

地域の公園や商業施設など、多くの住民が集まる場所に消防署員が出向き、防火防災訓練を推進しています。



## 在留外国人を対象とした防火防災訓練

防火防災訓練を通じ、日本の防災理念や災害時の行動を指導しています。



## VR映像を使った防災教育

災害を360度の視点で疑似体験できる「B-VR (ビーバー)」を使い、防災教育を実施しています。



## Topic

## 防災訓練用車両の紹介

### VR防災体験車



▲火災・地震・水災を体験

### 起震車



▲地震の揺れを体験

### まちかど防災訓練車



▲消火器を使った初期消火訓練

# 消防団



特別区（赤羽消防団）



多摩地域（清瀬市消防団）

消防団は、会社員や自営業、学生などで構成され、災害活動や住民の方への防災指導など安全・安心な街づくりの実現に欠かせない存在です。

## 消防団員の入団条件

- 18歳以上の健康な方
- 消防団の区域に居住、勤務又は通学している方

## 消防団員の処遇

- ◆ **報酬**  
年額報酬や出場手当の支給があります。
- ◆ **公務災害補償**  
活動中に負傷した場合の様々な補償があります。
- ◆ **被服等の給与**  
活動時に必要な活動服や制服等が支給されます。
- ◆ **退職報償金**  
5年以上の消防団活動を行った方が退団した時に支給されます。
- ◆ **表彰**  
活動にあたって功労、功績があった場合に表彰されます。



▲可搬消防ポンプの取扱の教養を受ける消防団員

## 消防団員募集



0120-119-588 <https://tokyo23city-syobodan.jp/>  
東京消防団  
詳しくは特別区消防団HPをご覧ください。

市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

23区内に  
お住まいの方



市町村に  
お住まいの方



## 消防団の技能講習

消防団員には、第三級陸上特殊無線技士や二級小型船舶操縦士、可搬消防ポンプ等整備資格者、応急手当指導員、応急手当普及員などさまざまな資格が取得できる機会があります。  
また、手話や英会話など、スキルアップに役立つ講習を受講することもできます。

## 消防団の組織

東京の消防団は、都知事が管理する特別区と各市町村長が管理する多摩・島しょ地域にそれぞれ設置されています。装備や制服・処遇など各市町村で異なるものもありますが、災害活動や防火指導など基本的な活動は変わりません。各消防団の現況については下表のとおりです。

※令和6年4月1日現在

|              | 団員定数    | 団数  | 事務担当        |
|--------------|---------|-----|-------------|
| 特別区<br>(23区) | 16,000人 | 58団 | 23区<br>各消防署 |
| 多摩地域         | 9,050人  | 30団 | 各市町村        |
| 島しょ地域        | 1,587人  | 10団 |             |

## 消防団の施設

分団本部施設は、消防団員の活動拠点として活用しています。主に、火災や震災等の大規模災害時の参集場所、教育訓練、資器材の点検、分団会議及び警戒の拠点として使用し、各種資器材等を収納できる格納庫及び会議や訓練スペース等を併せ持った施設として整備しています。



▲本田消防団第1分団本部  
(令和5年8月完成)



▲王子消防団第6分団本部  
(令和5年12月完成)

## 分団本部施設の規模・構造等

|    |                                             |
|----|---------------------------------------------|
| 規模 | 延べ面積：約80㎡<br>平屋または2階建<br>(1階格納庫、2階会議室等スペース) |
| 構造 | 鉄骨造                                         |
| 設備 | 電気・給排水設備                                    |

## 可搬ポンプ積載車

特別区では、可搬ポンプ及び各種資器材を災害現場まで搬送するため緊急走行可能な軽自動車を324台配置しています。

※令和6年4月1日現在



## Topic

## 消防団の組織力を充実・強化するための制度

- ◆ **機能別団員制度**  
広報や応急救護指導などの特定の任務に限定して活動
- ◆ **大規模災害団員制度**  
消防職員・消防団員経験者、医療・建築関係従事者などを対象とし大規模災害に限定して活動

※詳しくは最寄りの消防署へお問合せください。

大規模災害団員の訓練の様子▶



# 都民のみなさまと ともに

災害に強いまちづくりを目指し、各種行事、防災情報の発信、幼少期からの消防とのふれあいや、防災教育などを通じて、都民のみなさまへの防火・防災意識の普及に努めています。

## 東京消防庁音楽隊

「地域と奏でる防災のハーモニー」をキャッチフレーズとし、様々な行事や式典での演奏活動を通して、防火・防災を呼びかけています。国家的行事をはじめ、都民と消防のふれあいコンサート、避難訓練コンサートなど、都内各地で演奏しています。



▲東京消防出初式



▲都民と消防のふれあいコンサート

## 東京消防庁カラーガーズ隊

音楽隊とともにパレードや広報イベントなどに参加し、消防のイメージにふさわしい規律あるさわやかな演技で、都民の皆様に防火・防災を呼び掛けています。



▲水の消防ページェント



▲都民と消防のふれあいコンサート

## はたらく消防の写生会

消防隊員や消防車両などの写生画、火災予防や地震対策などのポスター、未来の消防車両や消防活動をイメージした図画を作成する、小・中学生向けのイベントです。



▲消防車を描く小学生



▲応募作品の展示会

## 消防少年団

消防の仕事や火災予防に関心のある少年少女で結成されています。防火防災についての知識と技術を学んだり、地域の特徴や季節に応じた活動をしています。



## 東京消防庁災害時支援ボランティア

震災等災害時に応急救護活動や消防署の後方支援活動を行います。また、平時時は消防職員と連携し、地域住民に対する防災訓練指導を行います。



▲AEDを使った応急手当の訓練



▲応急救護訓練の指導

## Topic

## 防災館の新しいコーナー

新しくなった防災館のコーナーでは、地図を見ながら災害発生時の行動を学べる図上訓練、崩れた建物等から人を助け出す救出救助訓練、様々な状況を想定したリアルな通報訓練が体験できます。



▲池袋防災館 図上訓練コーナー



▲本所防災館 救出救助コーナー



▲立川防災館 通報訓練コーナー

# 情報発信

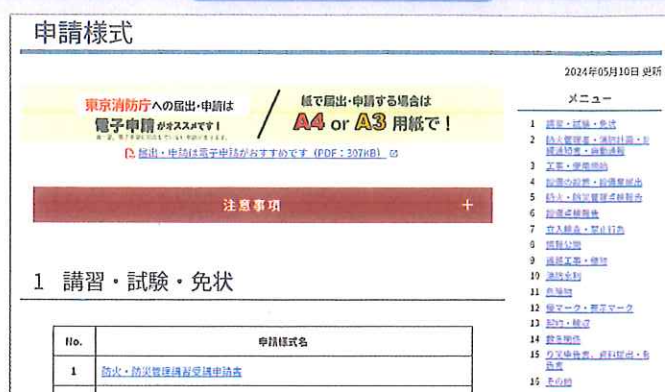
## 東京消防庁公式ホームページ

東京消防庁ホームページでは、都民のみなさまの防災意識と防災行動力を高めるため、災害統計をはじめ、各種災害の教訓、地震対策の情報、けがや事故の予防情報などの生活に密着した消防・防災情報、建物の安全・安心情報をタイムリーに提供しています。



### ホームページトップ画面

### 申請様式



### 電子学習室

### こどもページ



## 東京消防庁公式アプリ

多くの機能を備え、ユーザー個々の興味・関心に合わせて利用できる「緊急時にも役に立つ」アプリです。

ダウンロードは  
こちら！



### 救急サポート

### マップ機能

### 消防カード



▲東京消防庁公式アプリの紹介動画

## SNSによる情報発信

X(旧 Twitter)と Facebook にて公式アカウントを開設し、季節ごとの日常生活事故の注意喚起や、イベントの情報などを発信しています。



X(旧 Twitter) : @Tokyo\_Fire\_D



Facebook : @TokyoFireDepartment

## YouTube 東京消防庁公式チャンネル

東京消防庁の紹介、災害現場における消防隊の活動などを配信しているほか、楽しく防災を学べる動画や、新たな部隊、車両の紹介動画など豊富なコンテンツを配信しています。

チャンネル登録はこちらから



## 広報紙「広報とうきょう消防」

東京消防庁が実施する業務を正しく伝え、都民のみなさまに安全・安心情報を発信している新聞折り込み広報紙です。東京消防庁公式ホームページや電子チャシポータルサイトでも配信していますので、ぜひご覧ください。

以下のサービスでも配信中

- ◇電子チャシ「シュフー」
- ◇子育て情報プラットフォーム「コズレ」
- ◇アプリ「マチイロ」



## 外国人のための防災ハンドブック

都内在住の外国人の方や、東京都を訪れた外国人旅行者の方が安心して生活、滞在できるように119番通報要領や地震に対する備えなどを、4か国語(英語、中国語、韓国語、ベトナム語)で紹介しています。東京消防庁公式ホームページでも公開しています。



# 見学・体験施設のご案内

## 消防博物館

江戸時代に描かれた絵巻や錦絵、大正時代の消防クラシックカーから最新の消防隊の装備まで、消防に関する資料を展示しています。開館日の午後1時45分から館内を案内するガイドツアーを実施しており、子どもから大人まで楽しみながら消防への理解を深めることができます。



所 在：東京都新宿区四谷3-10  
(東京メトロ丸ノ内線四谷三丁目駅2番出口直結)  
電 話：03-3353-9119 (代表)  
開 館 時 間：午前9時30分から午後5時まで  
(入場無料)  
休 館 日：月曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月29日～1月3日)

## 防 災 館

インストラクターの説明のもと、地震の揺れや煙、初期消火、応急手当などをツアー形式で実際に体験し、「もしも」に役立つ防災力を高めることができる施設です。



### 池袋防災館

所 在：豊島区西池袋2-37-8  
電 話：03-3590-6565  
休 館 日：第1火曜日・第3火曜日、第3火曜日の翌日  
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※池袋消防署の4階が入口です。



- 池袋駅から徒歩5分
- ナイトツアー実施中(毎週金曜日)

### 本所防災館

所 在：墨田区横川4-6-6  
電 話：03-3621-0119  
休 館 日：水曜日、第3木曜日  
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※本所消防署に併設しています。



- 最新鋭の地震体験
- 都市型浸水・暴風雨体験

### 立川防災館

所 在：立川市泉町1156-1  
電 話：042-521-0119  
休 館 日：木曜日、第3金曜日  
(祝日の場合は直後の平日)、年末年始

※立川消防署に隣接しています。



- 子ども向けの体験施設が充実
- 車で来館可能

# 各種窓口のご案内

## 都民相談窓口

東京消防庁では、広報課(本部庁舎)のほか、各消防署、消防分署、消防出張所に都民相談窓口を設けて消防に対する意見や要望等をお伺いしています。

## 広報課 都民の声係

電 話 番 号：03-3212-2111(代表) 内線2325  
FAX番号：03-3212-1027  
e-mail tfdinfo@tfd.metro.tokyo.jp

平日午前8時30分から午後5時15分まで

※平日とは月曜日から金曜日までで、祝日、休日、年末年始(12月29日～1月3日)を除きます。

## 災害情報案内

23区内 03-3212-2119 多摩地区 042-521-2119

## 消防署窓口

※消防署により担当係・業務が異なる場合があります。必ず事前にお問い合わせください。

### ●総務課

管 理 係：採用試験の案内  
経 理 係：消防手数料の支払

### ●予防課

防火管理係：防火管理・消防計画の届出  
防火対象物点検報告制度  
自衛消防訓練  
各種試験・講習の申込み  
予 防 係：消防用設備等の設置相談  
建物の防火に関する相談・使用届  
催し物の届出  
査 察 係：消防用設備等の点検報告  
立入検査の改修報告  
危 険 物 係：危険物の許可・認可  
火災で受けた損害の証明書(り災証明書)の申請

### ●警防課

防災安全係：消防団・災害時支援ボランティア・  
消防少年団  
防災訓練の申込み・指導  
震災対策・住宅防火対策  
消 防 係：火災とまぎらわしい行為の届出  
道路工事・水道の断水等の届出  
救 急 係：救命講習・応急救護訓練の申込み・指導  
救急車を利用した際の搬送証明  
機械装備係：消防車両・資器材等の問合せ

### ●消防分署・消防出張所

上記の事務を受付けていますが、内容により分署及び出張所では対応できない場合がありますので、事前にご相談ください。